

IBM FORUM 2007

イノベーションという言葉が、いま多くの人々の関心を集めています。激しく変化する環境に対応するための企業戦略を考える際のキーワードとしてだけでなく、さまざまな場面でイノベーションが注目されているといっ

てよいでしょう。
2007年2月20日(火)・21日(水)の2日間にわたって開催されたIBM FORUM 2007は「イノベーション ~ 進化し続けるために」をテーマに、マネジメント・セッション(20日)とエグゼクティブ・セッション(21日)が行われました。いずれも多数の皆様にご参加いただきましたが、ここではグラントプリンスホテル赤坂(旧 赤坂プリンスホテル:東京)でのマネジメント・セッションの様子をご紹介します。

イノベーションによって成功していただくための最も信頼されるパートナー

オープニングでは、日本アイ・ピー・エム株式会社(以下、日本IBM)代表取締役社長 大歳卓麻が基調講演を行いました。



大歳 卓麻

「インターネットによって、個人や企業を取り巻く環境が急激な勢いで変化

しつつあります。大変な数のブログやSNS(Social Networking Service)、アフィリエイト、そしてGoogle™など、いろいろな新しいものが出てきまし

た。また、日本の広告費の総額はこの10年間でほとんど変わりませんが、インターネット広告の割合がどんどん増えています。

いま企業は、変化のスピードに対応するために何をしなければならぬのでしょうか。世界中のCEO(最高経営責任者)にインタビューした結果をまとめた『The Global CEO Study 2006』によれば、『ビジネス・モデルのイノベーション』に高い関心が寄せられています。

ビジネス・モデルの変革の要件として、四つの要素を挙げたいと思います。すなわち『オープン』『統合(インテグレーション)』『協働(コラボレーション)』『グローバル』です。例えば、これからは社外や競争関係にある企業ともグローバルにコラボレーションする必要が出てくるでしょう。

さらに、その企業ならではの価値観を共有することも重要です。IBMでは、2006年に全世界のIBMの社員やその家族、お客様企業も参加して



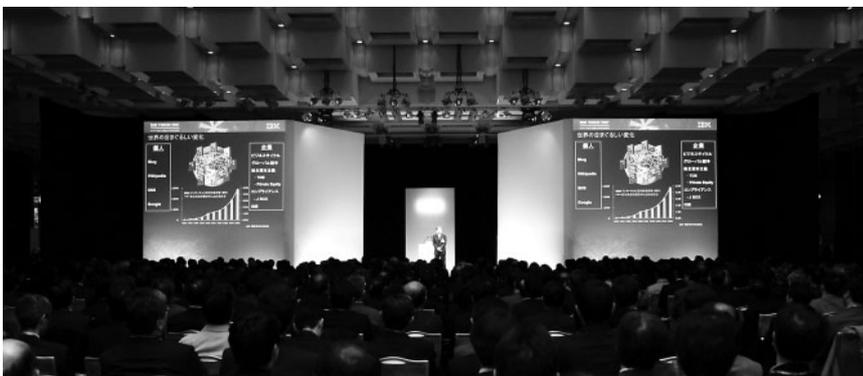
Web上で大規模な討論を2回、行いました。イノベーションについても自由に討論した結果、今後5年間の開発テーマが五つ決まりました。

『The Global CEO Study 2006』によると、イノベーションを行うに当たっては企業のトップ自らがリーダーシップを発揮して取り組むことが重要だと、多くのCEOが考えています。既成概念にとらわれず、社員のためにコラボレーションの環境づくりと支援を行い、最新テクノロジーの動向も取り込んでいく。IBMは、こういった多くの場面でさまざまなお手伝いができます。お客様企業にイノベーションによって成功していただくための最も信頼されるパートナーになる、それがわたしたちIBMの明確な目標なのです」

基調講演に引き続いて、お客様より経営構造改革についてのご講演をいただきました。

ビジネス・イノベーションのための多角的な道筋を提示

基調講演とお客様講演の後は二つの会場に分かれ、ビジネス・イノベーション・トラックでは、アイ・ピー・エムビジネスコンサルティング サービス株式会社(以下、IBCS)常務取締役 金巻龍一による「イノベーション企業 七つの条件」と、IBCS 取締役 兼 日本アイ・ピー・エム株式会社 執行役員 松永達也の「イノベーション実現



の鍵 ~ 知的資産の最大活用 ~」が行われました。

「イノベーション企業 七つの条件」では、成功している企業の特性を見た場合、業種による差はあまり見られないという事実を提示。「世界の代表的な株価指数の一つであるS&P(Standard & Poor's)グローバル1,200を構成する1,200社のうち、10年間連続で成長した企業はほんの1.6%で、しかも10年の間に3~4回も企業戦略を入れ替えながら伸びています。ここから分かることは、イノベーションの中身よりも、イノベーションを



金巻 龍一

起こし続ける仕組みづくりが重要だという点です」。そのために、アイデアを集めて管理し、事業に持っていくプロセスを持っている

か。また、信頼できるビジネス・パートナーがどのくらいいるかといった7項目の条件が提示されました。

「イノベーションを実現するためには、社外の知恵をいかに借りるかも重要です。外部のパートナーや研究所とのつながりについて考えると、アウトソーシングの意味が変わってきているのではないかと。すなわち、自社にない卓越したスキルを手に入れるための方法として、ソーシング戦略を立案する必要があるでしょう」

さらに、いま最も注目されているテクノロジーの一つであるSOA(Service Oriented Architecture: サービス指向アーキテクチャー)にも言及。「SOAによって、ビジネス・プロセスにおける世界中のベスト・プラクティスが使えるようになるでしょう。2006年にSOAの技術的な基盤が確立し、今年から来年にかけて、多くの企業で導入が計画されています。2010年ごろには、ビジネスに大きなイ

ンパクトを与えると予想されます」。

また「イノベーション実現の鍵 ~ 知的資産の最大活用 ~」では、グローバル競争の中にあつて、物的な資産をほとんど持たない企業が相当な利益を上げているケースがある点に注目。企業の収益力の源泉が物的なものから知的資産による創造性や拡張性にシフトしつつあるのに対して、多くの日本企業が国内市場への対応で精いっぱいであり、限られた人材や貴重な知恵を十分に生かし切れていないのではないかと問題提起がされました。その上で、企業のイノベーションを実現する新規事業の創造や統合製品開発、グローバル・マネジメントの考え方や具体的な仕組みなどについて多くの提案が出されました。

CIO(最高情報責任者)の役割はITとビジネスの融合を推進すること

テクノロジー・トラックでは、日本IBM ディスティングイッシュト・エンジニア(技術理事)執行役員 大和イノベーション・サービス担当(役職は当時) 坂上好功の「ビジネス・イノベーションを加速するテクノロジーの進化」およびIBM アジア・パシフィック ディレクター ビジネス・トランスフォーメーション&IT担当 CIO for IBM Asia Pacific ピーター・フライリングによる「ビジネス・イノベーションに貢献するITとCIOの役割」の二つのセッションが開催されました。

将来のイノベーションを視野に入れたビジネス戦略を策定するためには、テクノロジーの進化を理解し、それをビジネスへ融合するチャンスをいち早くつかまえることが大切です。「ビジネス・イノベーションを加速するテクノロジーの進化」では、IBMが作成している「Global Technology Outlook」や「Global Innovation Outlook」など

のレポート、および全社員やその家族、取引先までも巻き込んだInnovation Jamなどの話題に触れながら、イノベーションという観点から、IBMが注目する新しいテクノロジーについて紹介されました。

イノベーションは誰がリーダーシップを取って推進するのか、これは多くの企業にとって非常に興味があるテーマです。ピーター・フライリングの



ピーター・フライリング

「ビジネス・イノベーションに貢献するITとCIOの役割」では、イノベーションの推進役として、CIOはテクノロジーの知識とビジネスの知識を組み合わせることでイノベーションの実現に積極的な役割を果たすべきであると指摘されました。

CIOに必要なのは、まずビジネスを理解し、ビジネス戦略への寄与をITの優先事項とすること。また、社内外のコラボレーションを促進する組織風土とインフラを整備すること。さらに、ビジネスの要請に素早く対応できるフレキシブルなシステムを構築すること。これらの役割を果たすCIOを、Web2.0との連想から、ピーター・フライリングは「CIO 2.0」と呼びました。

「CIOは、率先して企業変革を推進し、社内外のコラボレーションを推進し、テクノロジーを使いこなしながら





イノベーションを実現する立場にあるのです。

また、いかに迅速にビジネス・プロセスの変革を実現するかという点に注目してみると、柔軟性あるモジュール化されたシステムの重要性が理解できます。資産をモデル化し、モジュール化すれば、ビジネス・プロセスの変化により早く対応できるでしょう。また、資産の再利用で低コスト化も図れます。フレキシブルなシステムはビジネス・リスクの低減にも貢献します。あらかじめテストし、稼働後も改善を続ける。SOAがキー・テクニク

となってフレキシブルなシステムを構築することができます」

会場に設けられたInnovation Cafeでは、「コラボレーションが実現するイノベーション」をテーマとした展示が行われ、ゲーム業界におけるテクノロジー・コラボレーションの事例を展示でご紹介。「Cell Broadband Engine™コーナー」「Power Architecture™コーナー」「IBMの実現するイノベーション映像コーナー」の各コーナーは、興味深げに見入る多くのお客様でにぎわっていました。

今回に引き続いて、IBM Forumは「イノベーション ~進化し続けるために」をテーマに年間シリーズとして展開し、お客様のさまざまな職種や役職に応じたバリエーションをお届けしていく予定です。

IBM中堅企業イノベーション フォーラム2007

日程	会場	
5月24日(木)	名古屋	IBM名古屋事業所
5月25日(金)	大阪	IBM大阪事業所
5月29日(火)	東京	IBM箱崎事業所

IBM ソリューション・フォーラム

日程	対象	会場
6月18日(月)	CIO、IT部門のお客様	グランドプリンスホテル 赤坂